

2024年度 北見藤高等学校シラバス

【教科】 【科目】	【数学】【数学演習】	3年	3単位	教科書		副教材等		履修対象・ 使用教室等	フロンティア 3年3組教室		
教科・ 科目の 目標	(1) 数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、また、図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表す、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、また、図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確かな事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。 (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。										
評価の 観点	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度					
	・基本的な概念、原理・法則、用語・記号など基礎的な知識を理解しているか。 ・事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能が身についたか。		・数学的な見方や考え方の良さを認識し、事象を数学的にとらえ、論理的に考えることができるか。 ・身近な事象を数学化し、積極的に数学を活用しようとしているか。			・授業に集中し、他の生徒と共に協力し合いながら問題解決に取り組むことができるか ・家庭学習の習慣を身につけて、課題等の提出に積極的に取り組むことができるか。					
評価 方法	* 単元などの授業内容のまとまりごとに「評価の観点」に基づいた観点別評価を行い、【A:「十分満足できる」状況 B:「概ね満足できる」状況 C:「努力を要する」状況】とする。 * 単元などの観点別評価に基づいて、学習全体の総括的な評価を行ったものを「5段階の評定」とする。										
評価 資料・ 評価 比重 (100点換算)	評価資料等		予定回数・内容等			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
	単元テスト		前期・後期各2回、計4回予定			50	50				
	レポートならびに確認テスト		演習時に課される課題。			50	50	50			
	授業態度		授業を受ける姿勢や取り組み状況					50			
	【観点別配分%】		【3観点の比重を%で示しています】								
月進行 (計画)	【単元名】 学習項目名	配当 時間 (計画)	学習内容・目標(到達点) など			主な評価資料		評価の重み付け【◎○】			
4 5	【数学Ⅰ・A】 実践演習	22	・数学Ⅰと数学Aの内容を網羅した問題演習を徹底し、基礎基本の定着はもちろん、数学的な考え方と応用力を鍛える			単元テスト	○	○			
						レポート	○	○	○		
						授業態度				◎	
6 7	【数学Ⅰ・A】 実践演習	25	・数学Ⅰと数学Aの内容を網羅した問題演習を徹底し、基礎基本の定着はもちろん、数学的な考え方と応用力を鍛える			単元テスト	○	○			
						レポート	○	○	○		
						授業態度				◎	
8 9	【数学Ⅰ・A】 実践演習 大学の過去問演習 就職試験に関わる数学	18	・数学Ⅰと数学Aの内容を網羅した問題演習を徹底し、基礎基本の定着はもちろん、数学的な考え方と応用力を鍛える ・それぞれの進路実現に向けて、習熟度に合わせた演習形式を行う。			単元テスト	○	○			
						レポート	○	○	○		
						授業態度				◎	
10 11	【数学Ⅰ・A】 実践演習 大学の過去問演習 就職試験に関わる数学	25	・数学Ⅰと数学Aの内容を網羅した問題演習を徹底し、基礎基本の定着はもちろん、数学的な考え方と応用力を鍛える ・それぞれの進路実現に向けて、習熟度に合わせた演習形式を行う。			単元テスト	○	○			
						レポート	○	○	○		
						授業態度				◎	
12 1	【数学Ⅰ・A】 実践演習 大学の過去問演習 就職試験に関わる数学	15	・数学Ⅰと数学Aの内容を網羅した問題演習を徹底し、基礎基本の定着はもちろん、数学的な考え方と応用力を鍛える ・それぞれの進路実現に向けて、習熟度に合わせた演習形式を行う。			単元テスト	○	○			
						レポート	○	○	○		
						授業態度				◎	
学習の アドバイス	・公式は暗記するだけでなく、それぞれの公式の意味を理解し、どう役に立つのかを考え、数学的な見方・考え方の良さを感じとれるようにしましょう。 ・解答は最終的な答えだけを重視するのではなく、どのように考え、どのような定理や公式を利用したか、どのように計算したかが明確になるように記述することを心がけましょう。 ・単元テストは授業及び日常の学習で培った学力を確認する場面になります。しっかりと復習し、確実に正解できる問題と正解を目指す問題を明確にすることで少しでも高い得点を目指しましょう。 ・日々の学習習慣を身に付けましょう。数学だけでも1時間の復習を皆さんに求めます。 ・単元テスト後はできなかった問題を放置せずに弱点の克服に努めましょう。										